

経営発展支援事業を活用した先輩農業者のすがた(初期投資【機械や施設を購入】されたみなさん)  
～中国・四国・九州地方～

【経営発展支援事業】

| 採択年度        | 営農類型 | 米麦等             | 野菜等             | 果樹           | 畜産           |
|-------------|------|-----------------|-----------------|--------------|--------------|
| 令和4年(2023年) |      | 福島県 鈴木 義彦 さん    | 北海道 濱田 剛・きずき さん | 山形県 古山 寛 さん  | 岩手県 匿名希望 さん  |
|             |      | ※島根県 匿名希望 さん    | 青森県 斉宮 大・知佳 さん  | ※島根県 匿名希望 さん | 岐阜県 岡山 直人 さん |
|             |      | ※鹿児島県 中村 隆太郎 さん | 秋田県 吉田 真大 さん    | 徳島県 匿名希望 さん  | 熊本県 田上 直人 さん |
|             |      |                 | 山形県 中村 誠 さん     |              | 鹿児島県 匿名希望 さん |
|             |      |                 | 埼玉県 横田 寛明 さん    |              |              |
|             |      |                 | 栃木県 H. M・T さん   |              |              |
|             |      |                 | 石川県 番場 智仁 さん    |              |              |
|             |      |                 | 三重県 匿名希望 さん     |              |              |
|             |      |                 | 京都府 芦田 泰子 さん    |              |              |
|             |      |                 | 奈良県 木村 幸啓 さん    |              |              |
|             |      |                 | 兵庫県 村上 玄一 さん    |              |              |
|             |      |                 | 鳥取県 森田 智史 さん    |              |              |
|             |      |                 | 山口県 匿名希望 さん     |              |              |
|             |      |                 | 高知県 武政 大地 さん    |              |              |
|             |      |                 | 宮崎県 匿名希望 さん     |              |              |

※ 複数の類型について営農

## 森田 智史 さん (38歳)

(営農類型：露地野菜)

## 新規就農を志した経緯・背景

以前の勤務先にて農家の方と関わる機会が多くあり、農業経営に興味を持った。話を聞くなかで、自分で作ってみたい品目が見つかり、就農を決意。農業法人に約2年間勤務し、栽培技術や農業経営について学んだのち、令和4年夏に経営を開始。

## 導入した機械・施設等

- ・予冷库一式
- ・ラジコン動噴1台



## 初期投資を行う上で留意したポイント

- ・経営開始前に将来にわたって経営を安定させるには初期投資をしっかり行う必要があると考えた。
- ・どのようなものを整備し規模を拡大していくと良いか、先輩農業者や普及員に相談し、投資計画を練った上で必要な機械を導入した。

## 導入の効果

- ・予冷库の導入により、収穫から出荷までの品温上昇を防ぐことができ、計画的な出荷が可能になった。
- ・ラジコン動噴の導入により、ブロッコリーの防除の省力化につながった。

## 就農の状況と今後

就農準備 (R2~R4.7)

- ・独立就農を見据え、農業法人にて約2年勤務し栽培技術等を習得。
- ・普及員やJAから営農計画等に関するアドバイスを受け、青年等就農計画を作成。

現在 (就農1年目 R4.8~12)

- ブロッコリー 60a
- ・独立し農業経営を開始
  - ・事業で予冷库・ラジコン動噴等を導入した。

今後の目標 (就農5年後)

- ブロッコリー 80a  
スイカ (ハウス・露地) 100a  
ストック 6a
- ・ハウス栽培の導入、経営面積の拡大や、作付品目を増やすことで、所得確保を目指す。
  - ・5年後の所得目標は313万。

## 匿名希望 さん (49歳)

(営農類型：果樹 [ぶどう] ・ 水稻 [もち米] )

## 新規就農を志した経緯・背景

義父が農業を営む地域で後継者問題が起こる中、地域における耕作放棄地の増加、栽培技術の衰退、食料自給率の低下などの諸課題を目の当たりにし、自身が地域農業を守る担い手のひとりとなることで、地域課題解決の一助になればと就農を決意しました。

## 導入した機械・施設等

- ・ 自動餅つき機
- ・ ミニショベル



## 初期投資を行う上で留意したポイント

- ・ 農林大学校での研修で使用されていた機械のうちで、就農時点で確実に必要と思われるものをピックアップしました。
- ・ もち加工用の機械については、生産から加工、販売までの計画を市の担当者と相談しながら作成し、収益性、作業効率と費用とのバランスを考慮しました。

## 導入の効果

自動餅つき機…従来の手つきに比べ、負担感や作業効率が改善したことに加え、品質の安定にもつながったことで、生産力が大きく向上しました。

ミニショベル…今後行う、ぶどう栽培の土壌改良の際に掘削作業や資材投入作業で使用し、作業の効率化を図る予定です。

## 就農の状況と今後

## 就農準備 (R3)

- ・ 農林大学校で研修し、ぶどう栽培や農業経営の基礎を学ぶ。
- ・ 農大スタッフや市担当者、普及員からアドバイスを受けながら青年等就農計画を作成
- ・ 市、農業委員会の紹介を受け、農地を確保



## 現在 (就農1年目)

- もち米栽培 20a
- ・ 加工所と自動餅つき機を取得し、もちの生産を強化。
- ・ 地域グループとの協働で生産、販売を行う。
- ・ 来年のぶどう栽培開始に向けたほ場準備など



## 今後の目標 (就農5年後)

- ぶどう栽培 20a
- もち米栽培 80a
- ・ ぶどうはシャインマスカットを生産し、JAへ出荷。
- ・ もちは市外スーパーへも販路を拡大。
- ・ 農業所得の目標は268万円。

## 匿名希望 さん (39歳)

(営農類型：露地野菜)

## 新規就農を志した経緯・背景

前職を退職後、就職サポート機関の紹介で農業法人のアルバイトに従事し、じねんじょ栽培に関心を持った。

農作業に従事する中で、農業の楽しさや喜びを感じ、自分で農業経営をしたいと考え、就農を決意。市等に就農相談の上、2年間の就農前研修を経て、令和4年に経営開始。

## 導入した機械・施設等

トラクター25ps



## 初期投資を行う上で留意したポイント

- ・指導農家や県農林水産事務所等に相談し、青年等就農計画を作成する中で、農機や装備品の能力、種類を決めていった。
- ・青年等就農資金を活用し、初期投資の負担軽減を図った。
- ・事業の活用や納入に時間を要するため、その間に指導農家から農機を借りることができるよう相談した。

## 導入の効果

じねんじょ栽培には土壌をしっかりとほぐすことや、田の排水対策を実施する必要がある。適切な能力のトラクターを整備できたことで、排水対策のためのサブソイラー施工や、目標年の経営面積を達成できる耕起が可能となる。

## 就農の状況と今後

## 就農準備（R1～2）

- ・令和2年に研修開始。
- ・農業次世代人材投資事業（準備型）を活用し、やまぐち就農支援塾担い手養成研修を2年間受講。うち1年はじねんじょ生産法人へ長期農家派遣研修。
- ・経営開始前から人・農地プランの地区座談会に出席し、就農意向を地域みなさんへ伝えた。

## 現在（就農1年目）

- ・じねんじょ30aで経営開始。
- ・就農1年目は、指導農家や農地最適化推進委員の協力により、60aを集積。
- ・じねんじょ生産法人と連携し、販路を確保する。

## 今後の目標（就農5年後）

- ・じねんじょの栽培面積を1haまで拡大させる。
- ・近隣の農地集積を進め、経営面積は3haを目指す。
- ・400万円以上の売上を確保し、目標所得達成を目指す。

# 匿名希望 さん（41歳）

（営農類型：露地果樹）

## 新規就農を志した経緯・背景

民間企業で20年勤めていたが、仕事に追われ、家族との時間を大切にしたいと思い、就農を決意した。栽培する品目として「すだち」を選択した理由は、後継者不足であると知り、力になりたいと思ったこと、また、より多くの人に知ってもらいたいと考えたため。

## 導入した機械・施設等

- すだち貯蔵用冷蔵庫
- 冷蔵庫設置用パイプハウスの増設



## 初期投資を行う上で留意したポイント

- 必要な機械を経営の初期段階から利用できるよう、研修中から少しずつ計画的に導入した。
- 研修中に周囲の農家との関係を築き、営農に必要な情報の収集を行った。
- 導入する機械・施設は、研修機関や先輩農家とも相談の上選定。

## 導入の効果

- すだち貯蔵用冷蔵庫の導入によって、長期冷蔵貯蔵による出荷期間の延長が可能となり、市場価格の高い時期に出荷することで所得の向上につながった。

## 就農の状況と今後

### 就農準備（R2～3）

- 令和2年に研修開始
- 2年間の実践研修を通じて、栽培技術等を身につけた
- 円滑に就農できるよう、農地の貸借手続など、計画的に準備を進めた



### 現在（就農1年目）

- 露地すだち69a
- 研修終了の直後から農業経営を開始
  - 順調に経営面積を拡大
  - 農薬使用量の低減を試行



### 今後の目標（就農3年後）

- 露地すだち110a
- 新たな品目にも積極的に取り組んでいきたい
  - 成園を確保し、さらなる経営面積の拡大を図りたい

# 武政 大地 さん (31歳)

(営農類型：施設野菜)

## 新規就農を志した経緯・背景

昔から二ろ農家である親の手伝いをしていた、いずれ自分でも農業をしたいと思っていた。農業協同組合の出荷場に勤めている時に、農家と情報交換をしている中で就農を決意。令和4年にハウスを建設し経営を開始。

## 導入した機械・施設等

被覆展張工事 32.2a



## 初期投資を行う上で留意したポイント

- ・経営開始前に営農計画を作成したが、ハウス資材の高騰により設備投資が想定より大きくなった。
- ・今後の経営発展のことを考え、自然災害に備えた高強度ハウスや高品質かつ多収量を実現するための統合環境装置の導入が必要であると判断した。

## 導入の効果

- ・高強度ハウスの新設により、自然災害に対し安心して就農することができた。
- ・今後は統合環境装置を使いこなし、地域平均以上の収量確保を目指していく。

## 就農の状況と今後

### 就農準備 (R2～3)

- ・JA出荷場で情報収集、父の農作業の手伝いをしながら、就農を検討。
- ・関係機関と設備投資内容や補助事業についての打合せを行いながら、営農計画を作成。



### 現在 (就農1年目)

- 施設二ろ 32.2a (ハウス1棟)
- ・経営発展支援事業と県単独補助事業を活用してハウス1棟を建設し、独立自営就農。
  - ・農業所得は、△322万円の予定



### 今後の目標 (就農5年後)

- 施設二ろ 52.2a (ハウス2棟)
- ・2年目に妻も就農し、夫婦で経営開始。3年目に20aの規模拡大の予定。
  - ・農業所得は、450万円を目指す。

# 田上 直人さん（29歳）

（営農類型：酪農業）

## 新規就農を志した経緯・背景

- ・酪農家の三男として生まれた。畜産以外の大学に進学したものの、幼い頃から動物が好きであり、酪農経営を行いたいとの思いから、インターンで酪農家に行き、改めて酪農の良さを再認識した。
- ・実家の酪農は兄が継承したため、独立新規就農を目指して、後継者育成に定評のある酪農家で3年半の研修を行った。

## 導入した機械・施設等

- ・堆肥舎1棟 150㎡
- ・家畜導入3頭



## 初期投資を行う上で留意したポイント

- ・酪農で新規就農を行うためには莫大な初期投資が必要であった。そのため、初期投資について精査したうえで、経営発展支援事業、県の新規就農事業、農業団体の新規就農者向け家畜導入事業などを有効活用。融資は青年等就農資金、農業近代化資金を効率的に活用した。
- ・妻の両親が元畜産農家であり、牛舎敷地や残っていた施設を活用して投資を抑えた。

## 導入の効果

- ・堆肥舎を建設することにより良質堆肥を製造でき、耕種農家への供給が可能になった。
- ・遺伝的に優れた初妊牛3頭を導入したことにより更なる乳量増加が期待できる。

## 就農の状況と今後

### 就農準備（R2～4）

- ・家畜人工授精師、農業機械の免許取得
- ・JAや町の指導を受けて青年等就農計画を作成し、補助事業や青年等就農資金、農業近代化資金を借りた。
- ・養父母の敷地に牛舎・施設を建設。

### 現在（就農1年目）

- 経産牛35頭（うち搾乳牛29頭）
- ・研修先の酪農家から搾乳牛を導入し、経営開始直後から搾乳を開始。
- ・飼料高騰の厳しい状況の中で、乳量は33kg/日・頭と良好な成績。
- ・常に牛舎に居て、牛や便の状態を観察し、事故対応をしている。

### 今後の目標（就農3年後）

- 経産牛40頭（うち搾乳牛35頭）
- ・夏場の暑熱対策のため、細霧装置を導入。
- ・飼料倉庫を建設し、自家配合を行う。
- ・農業所得の目標は753万円

## 匿名希望 さん (28歳)

(営農類型：施設野菜)

## 新規就農を志した経緯・背景

会社を辞め知人の農作業の手伝いをした時に、一見簡単そうな仕事に見えたが、自分で実際に作業すると難しく、栽培技術など覚えることも多くある事を知った。自分にとって面白い仕事だと思い、農業をしようと決心した。

## 導入した機械・施設等

- ・光合成促進機 2台
- ・循環扇 11台



## 初期投資を行う上で留意したポイント

- ・将来にわたって経営を安定させるためには、しっかりとした収量をあげる必要があると考えていたため、それに必要な設備を経営開始時に導入することとした。
- ・設備の選定については、農業研修時の農家仲間や町担当者などに相談した。

## 導入の効果

- ・ハウスを増設せずに増収が見込まれ、ハウス全体の温度・湿度斑解消による病気回避、省エネ対策の効果を期待している。
- ・栽培管理技術の向上と導入した設備を活かすことにより、確実な増収益が出来ると考えている。

## 就農の状況と今後

就農準備 (R3.7~R4.6)

- ・県の認定研修機関で研修
- ・JA、関係機関から就農計画に関するアドバイスを受け、青年等就農計画を作成
- ・農業次世代人材投資事業（準備型）の活用により研修中の生計を維持
- ・農耕用の牽引免許を取得

現在 (就農1年目)

## きゅうり (22a)

- ・離農農家のハウスを継承し経営開始
- ・両親及び1名の従業員を雇用

今後の目標 (就農5年後)

## きゅうり (22a)

- ・地元直売所等にも出荷先を拡大
- ・自己の栽培技術確立後、環境制御装置を導入し、スマート農業化を目指す。
- ・農業所得の目標は340万円

# 竹之内 憲俊さん (39歳)

(営農類型：露地野菜)

## 新規就農を志した経緯・背景

祖父母が南九州市穎娃町にてお茶農業を営んでいたことで、子供の頃から農業が身近にあった。社会人になり、小売業を中心に関わってきた中で、コロナ禍での生活変化（在宅・内食）をきっかけに、食の安心・安全への追及や有機農業全般への興味が湧き、就農する決意をした。R3年度に研修を受講し基礎的な栽培技術を学び、R4年4月より独立・自営を開始した。

## 導入した機械・施設等

- ・トラクター 1台 22ps
- ・堀取機 1台



## 初期投資を行う上で留意したポイント

- ・経営開始前に定植計画や販売計画を作成していたが、将来にわたって経営を安定させるには初期投資をしっかりと行う必要があると考え、投資計画を練った上で必要な機械は積極的に導入した。
- ・圃場規模拡大を見据え、トラクター等の必要性・作業効率化を期待。どのような能力・馬力を要する機械を導入すると良いか、経営開始前から地域の先輩農家に相談した。

## 導入の効果

- ・トラクターと堀取機を導入することにより、圃場管理が効率化でき、年間を通した栽培・出荷が可能になった。
- ・堀取機は、さつまいもの収穫作業効率・時短化が飛躍的に進み、段階的に規模を拡大できた。
- ・就農5年後、稼働圃場を就農時の150%増（100a）を目指し、更なるさつまいもの規模拡大にも努めていきます。

## 就農の状況と今後

### 就農準備（R3～R4）

- ・令和3年5月より研修開始
- ・市農政課や県振興局普及員から営農計画等に関するアドバイスを受け、青年等就農計画を作成
- ・近隣先輩有機農家からの実地指導
- ・有機JAS勉強会参加



### 現在（就農1年目）

さつまいも 5a  
人参 3a、オクラ 5a

- ・独立営農開始、定植計画遅れをシルバー人材でカバー（臨時雇用）
- ・事業でトラクターを導入した事で作業効率アップ・経営規模拡大
- ・農業収入は約30万円



### 今後の目標（就農5年後）

さつまいも 40a、馬鈴薯 40a  
玉ねぎ 40a、人参 10a、オクラ 10a  
らっきょう 10a、ニンニク 5a

- ・販路を新たに開拓し、産直市での直販やインターネット販売にも着手
- ・さつまいも規模拡大と少量多品目
- ・有機JAS認証取得
- ・農業所得の目標は160万円

# 山元 真之介さん (30歳)

(営農類型：露地野菜 [根深ネギ・ゴボウ])

## 新規就農を志した経緯・背景

祖母のもとで農業を経験した事から農業に興味を持っていました。前職を退職した後、思い切って農業を始めました。地域の気候を生かすことができ、ブランド力があるネギとゴボウを選びました。二品目を組み合わせることで労働力を分散させ、高収益農業を目指しています。今後は農業を通じて地元の活性化を計りたいと考えています。

## 導入した機械・施設等

- トラクタ1台 (33馬力)
- ネギ根葉切り機 (皮むき機セット) 1台
- ネギ掘取機 (ゴボウ堀部付) 1式



## 初期投資を行う上で留意したポイント

- 効率的で安定的な栽培を図るため、将来を見据え機械導入を行った。
- ネギとゴボウを選択することで、連作障害の対策と機械の互換性を図るよう兄からアドバイスを受けた。

## 導入の効果

作業の効率化と労働時間の短縮により、規模拡大が可能となった。

## 就農の状況と今後

### 就農準備 (R3)

- 兄からアドバイスをもらいながら技術を取得
- JAや普及員から営農計画等に関するアドバイスを受け、青年等就農計画を作成
- アルバイトにより生計を維持

### 現在 (就農1年目)

- 根深ねぎ (夏まき) 20a
- 新ごぼう20a
- 関係機関の指導を受けながら確定申告
- 親族の紹介で農地を確保

### 今後の目標 (就農5年後)

- 根深ねぎ (春まき) 40a
- 根深ねぎ (夏まき) 40a
- 新ごぼう30a
- 農業所得の目標は166万円

## 匿名希望さん（30代）

（営農類型：繁殖牛）

## 新規就農を志した経緯・背景

父が畜産農家であり、県農業大学校で畜産の基礎を学ぶ中で、自分の繁殖雌牛の導入（増頭）を図り、安定した経営に努めたいと思った。卒業後はすぐ独立・自営就農を開始するのではなく、地方公務員として外から流通やマーケティング、財務諸表などの知識を身につけ、令和4年に経営開始した。

## 導入した機械・施設等

- ・鉄骨牛舎1棟



## 初期投資を行う上で留意したポイント

経営開始前に生産ローテ（1頭ごとの種付や分娩時期）の計画を作成していたが、将来にわたって経営を安定させるには初期投資をしっかりと行う必要があると考え、県の技術職員と償還計画を練った上で施設や繁殖牛を積極的に導入した。

## 導入の効果

- ・生産ローテどおりに種付等ができるため、安定生産につながる。
- ・今後は分娩監視カメラを導入しつつ、段階的に頭数を拡大する。

## 就農の状況と今後

就農準備（R2～R3）

- ・親や地域の方からアドバイスをもらいながら技術を取得。親の経営を手伝い生計を維持。
- ・県や市の技術職員から営農計画等に関するアドバイスを受け、青年等就農計画を作成。

現在（就農1年目）

肉用牛20頭

- ・親の経営とは別に経営を開始
- ・出荷まで収入がないため、親経営の作業受託により生計を維持。

今後の目標（就農5年目）

肉用牛30頭 販売頭数26頭

- ・青色申告を実施し、経営分析を行い、収益性を高める。
- ・分娩監視カメラを設置し、事故率の低減や労働力の軽減を図る。
- ・農業所得の目標は338万円

## 佃 和絵 さん (42歳)

(営農類型：露地野菜)

## 新規就農を志した経緯・背景

小さいころから親の手伝いをしていたが、自分の生まれ育った地域で就農したいと考えるようになった。耕作放棄地が増えてきているので、少しでも解消に貢献したい。適期管理等を行い、品質の向上を図り、所得の増加を目指していきたい。

## 導入した機械・施設等

- ・トラクター 1台
- ・野菜移植機 1台
- ・ねぎ調整機 一式



## 初期投資を行う上で留意したポイント

機械等の購入に当たっては、必要最小限にとどめ、他の機械は、貸借を継続し、経営状況を見据えながら、随時整えることとした。また、目標経営規模に適応した機能・規格とし、過剰投資を抑えた。

## 導入の効果

1年目は先輩農家からの貸借で対応したが、植付け時期等が重なることもあり、作業が遅れ気味となった。

次期作からは適期作業が可能となり、作業の効率化が図られ、その分を品質向上の時間に充てていきたい。

## 就農の状況と今後

## 就農準備 (R2~3)

- ・親の経営を手伝いながら、年間の作業手順や栽培技術を取得。
- ・新規作物の深ねぎは、地域の先輩農家の指導を受けてきた。
- ・市の担当者やJA等の協議を重ねながら、青年等就農計画を作成。

## 現在 (就農1年目)

|        |     |
|--------|-----|
| らっきょう  | 10a |
| 島らっきょう | 10a |
| 深ねぎ    | 20a |

- ・令和5年5月から収穫開始予定。
- ・現在は、適期管理により、病害虫対策に気を配っている。

## 今後の目標 (就農5年後)

|        |     |
|--------|-----|
| らっきょう  | 50a |
| 島らっきょう | 10a |
| 深ねぎ    | 50a |

- ・農地中間管理機構の活用により規模を拡大。
- ・農業所得の目標は300万円

## 中村 隆太郎さん (21歳)

(営農類型：水稻・露地野菜)

## 新規就農を志した経緯・背景

地元（福山町）では、水稻農家の高齢化に伴い荒廃農地が増えつつある。慣れ親しんだ風景が衰えることが非常に残念であり、何とか守っていききたいとの思いから新規就農を志した。

## 導入した機械・施設等

トラクター45PS 1台  
 グランドロータリー 1台  
 水田ハロー 1台 トレーラー 1台  
 田植機（6条） 1台



## 初期投資を行う上で留意したポイント

- ・規模拡大するにあたって、利便性がよく作業効率のよいものを導入すること。
- ・将来にわたって経営を安定させるには初期投資をしっかりと行う必要があると考え、必要な機械を積極的に導入した。

## 導入の効果

水稻の作業効率化を図ることにより、ネギやスイートコーンの管理へあてる時間を増やして更なる規模拡大・品質の向上を目指す。

## 就農の状況と今後

## 就農準備（R3～R4）

- ・令和3年5月に研修開始  
県立農大チャレンジ研修中に  
農業機械化研修で免許取得
- ・霧島市新規就農支援センターから  
営農計画等に関するアドバイスを  
受け、青年等就農計画を作成。

外部リンクは  
[こちら！](#)

## 現在（就農1年目）

- 水稻500a スイートコーン40a  
 根深耒 10a
- ・親の農業経営を継承
  - ・事業で機械を導入し生産性向上
  - ・父、母、祖母と家族経営協定を締結

## 今後の目標（就農5年目）

- 水稻1300a スイートコーン50a  
 根深耒 50a
- ・ネギ管理機、調整機等の導入により、更なる規模拡大、生産性向上等に努める。